

三郷区 地域協議会だより

令和6年3月25日 発行

発行:三郷区地域協議会

編集:三郷区地域協議会・編集委員

南部まちづくりセンター

Tel 025-522-8831 Fax 025-522-8832

第57号

報告

三郷地区関係団体との意見交換会を開催

地域協議会では、三郷区が目指すべき地域の将来像及びその実現に向けて必要とされる取組について昨年度から協議を重ね、昨年5月に三郷区における「地域活性化の方向性」を決定しました。(令和5年7月25日発行「三郷区地域協議会だより第53号」掲載)

そこでは「**三郷区の美しい風景、盛んな農業、文化・歴史の資源、アクセスのよさをいかして、人と人のつながりを大切にした活力と魅力あふれる地域**」を目指すこととし、そのために必要とされる取組の1番目として「**地域リーダーや次世代を担う人材の育成と社会教育の充実**」を掲げています。

その後の協議の中で、コロナ禍以降自粛が続いていた地域イベント(夏祭り)を、できるだけ多くの若い人たちから参画してもらって復活・継続させていくことが、地域活性化と人材育成の両方に役立つのではないかという結論に至り、去る1月23日に夏祭りの実施に関わる関係団体との意見交換会を開催いたしました。(意見交換会の概要は裏面を参照)

地域協議会は夏祭りの実施主体ではありませんが、夏祭り実行委員会関係団体の皆さんから貴重なご意見をいただき、地域の現状や課題等を再確認することができ、上記の考え方を具体化していくうえで非常に有意義な時間となりました。

【意見交換会を通して得られた所見】

- 地域全体のイベントとして夏祭りを実施するためには、町内会や各種団体どうしの「横の連携」が非常に重要であること
- 各町内行事等との日程調整を始めとする、諸々の事前調整や準備が必要であること
- 夏祭り実行委員会設置(実行委員の人選)に当たり、中心的役割を担う団体の方々に「リーダー育成」という観点を意識してもらうことが必要であること 等



▲意見交換会の様子

意見交換会には、三郷地区町内会長協議会、三郷地区体育振興会及び三郷地区子供会の各会長などからご参加いただきました。

○地域協議会が提案した内容について

イベント開催

- ・音楽や芸能等の「発表の場」だけでなく、「体験の場」もあればよいのではないか。
- ・町内会ごとにブースを作ったり、催し物を行ったりできるとよいのではないか。
- ・「芸能・文化」「ゲーム」「販売・フリーマーケット」「町内・企業」「飲食」「移動手段」の六つに区分した具体的なアイデア（※）を提案しました。

リーダー育成

- ・消防団やPTAなどの若い人がイベントの企画や運営に参画することが、リーダー育成につながるのではないか。
- ・芸能・文化など特定分野に長けた能力を持つスペシャリストを発掘し、イベントの企画段階から参画することがリーダー育成につながるのではないか。

○団体からいただいた主な意見について

- ・夏祭りを実施してみたい取組が多くある。例えば、踊りの団体の発表会、竹灯籠づくり、キッチンカー、巡回バスなど。
- ・夏祭りの実行体制がどのようになっているのか理解できていない。
- ・地域全体で祭りを開催するためには、町内会単位の祭りとの日程調整が必要である。
- ・町内会を始めとする、地域内の各団体との連携を図る必要がある。
- ・「今年の夏祭りは面白そうだ」と感じてもらうことが、参加者の増加につながる。

※ 地域協議会で実現可能性にこだわらず「こんなことができればよいのでは？」という観点で考えたアイデアです。（令和6年度の夏祭りで全てのアイデアが実施されるわけではありません。）

区分	アイデア
芸能・文化	ステージでの催し（タレント、落語家、マジシャン）
	区内の踊りの団体による発表会（春駒、フラダンス、盆踊り・民謡）
	ミニフラワー教室 / 竹灯籠体験 / ランタン
	公民館で行った文化祭のような事業の実施
ゲーム	食べ物のランク当てクイズ（芸能人格付けチェックのような）
	スプーンで玉送りなど小さなゲーム（全員参加型）
	ゲーム対戦（スポーツ、マリオ） / ミニ四駆レース
	小さな子どもが参加できるもの（ミニ新幹線）
販売・フリマ	ミスト、噴水、水遊び、バルーンアート
	農業団体による農産物の販売等 / 農家組合、園芸組合の参加
	規格外の農産物を安価で販売
町内・企業	本など不用品をフリーマーケットで販売
	町内会や区内企業による出店
飲食	町内会単位で若い人が中心となりイベントを企画
	屋台村、カレー、パン、コーヒーショップ、レモネード、豚汁、ポップコーン
移動手段	キッチンカーを招く / 男の料理教室
	地区内巡回バスを引き続き実施